

『*medicina*』 第49巻 総目次

2012年 第1号～第13号

(数字は頁数, ()は号数を示す.)
(11号(増刊号)は10頁以降に掲載.)

【今月の主題】

■ 外してならない循環器薬の使い方 2012

〈循環器疾患に対する薬物療法の基本〉

救急蘇生・心原性ショック

……………菊島 公夫・長尾 建 8(1)

【心不全】

急性心不全, 慢性心不全急性増悪

……………梶本 克也 13(1)

慢性心不全……………原田 和昌 18(1)

【冠動脈疾患】

急性冠症候群……………中川 義久 22(1)

慢性虚血性心疾患

……末田 章三・河野 浩明・坂上 智城 26(1)

PCI, CABG 後の抗血小板薬の使い方

……………伊苅 裕二 30(1)

上室性頻脈性不整脈—心房期外収縮, 発作性上室性頻拍, 心房細動, 心房粗動……………松本 万夫 34(1)

心室性頻脈性不整脈—心室期外収縮, 心室頻拍, 心室細動……………池田 隆徳 40(1)

高血圧—降圧薬の選択の仕方……………平田 恭信 44(1)

心筋症—閉塞性・非閉塞性肥大型心筋症

……………秦野 雄・磯部 光章 48(1)

肺高血圧……………大郷 剛・中西 宣文 54(1)

閉塞性動脈硬化症

……………堀 真規・中村 正人 58(1)

脂質異常症, 動脈硬化症の二次予防

……………八尋 英二・朔 啓二郎 62(1)

抗血小板薬/抗凝固薬服用時の抗潰瘍薬

……………平石 秀幸・島田 忠人 66(1)

〈身につけるべき基本的な循環器薬の使い方〉

【循環不全, 心不全治療薬】

カテコラミンと PDE III 阻害薬……………加藤真帆人 70(1)

ジギタリス薬と経口強心薬……………吉川 勉 74(1)

カルベリチド, ニコランジル, 硝酸薬

……………佐藤 直樹 78(1)

抗血小板薬……………後藤 信哉 82(1)

抗凝固薬……………上塚 芳郎 86(1)

血栓溶解薬……………藤岡 正紀・中村 真潮 92(1)

【β遮断薬】

虚血性心疾患, 不整脈, 高血圧

……平光 伸也・宮城島賢二・椎野 憲二 96(1)

心不全……………後藤 大祐・筒井 裕之 100(1)

【ACE 阻害薬/ARB】

高血圧……………高橋 敦彦・久代登志男 104(1)

心不全……………安斉 俊久 110(1)

【カルシウム拮抗薬】

虚血性心疾患・高血圧

……………清水 勇人・荻尾 七臣 116(1)

不整脈……………藤木 明 120(1)

利尿薬……………猪又 孝元 124(1)

抗アルドステロン薬

……………藤井 真也・吉村 道博 128(1)

〈座談会〉

循環器薬の理にかなった使い方

……………山科 章・桑島 巖・
中川 義久・松村 真司 132(1)

■ 下痢と便秘—今日的アプローチ

〈病態生理—どうして起こるのか?〉

下痢の病態メカニズム

……………水野 慎大・日比 紀文 194(2)

便秘の病態メカニズム

……松下 光伸・深田 憲将・岡崎 和一 199(2)

〈診断アプローチの手順〉

下痢の診断アルゴリズム……………上野 文昭 203(2)

便秘の診断アプローチ

……坂田 祐之・田中 未生・藤本 一真 208(2)

〈検査のトピックス〉

便検査で何がわかるのか?

……………木下 芳一・川島 耕作 211(2)

内視鏡検査や画像検査で何がわかるのか?

……佐々尾 航・林 芳和・山本 博徳 216(2)

〈下痢症へのアプローチ〉

感染性下痢, 旅行者下痢症……………神谷 茂 220(2)

免疫不全症や移植後の下痢症

……………小泉 祐介・藤山 佳秀 225(2)

抗菌薬関連性腸炎

……池谷賢太郎・飯田 貴之・花井 洋行 231(2)

炎症性腸疾患に起因する下痢の診かた

……………森尾 純子・渡辺 守 236(2)

鑑別に留意する下痢，難治性下痢	
……石川 智士・平井 郁仁・松井 敏幸	241(2)
急性下痢へのクリティカルケア	
……山本 貴嗣・久山 泰	245(2)
下痢症に対する食事療法・生活指導	
……桜庭 彰人・小山 元一・高橋 信一	249(2)
下痢症に対する止瀉薬，薬物療法	
……山上 博一・渡辺 憲治・荒川 哲男	253(2)
〈便秘症へのアプローチ〉	
機能的便秘……河野 友彰・松本 譽之	257(2)
直腸肛門機能障害による便秘に対するアプローチ	
……神山 剛一・荒木 靖三・野明 俊裕	260(2)
直腸粘膜脱，宿便潰瘍	
……長坂 光夫・平田 一郎	264(2)
鑑別に留意すべき便秘，難治性便秘	
……前島 裕司・森山 智彦・松本 主之	267(2)
慢性便秘の食事・生活指導—便秘は健康にどう影響するか？……松本 吏弘・吉田 行雄	271(2)
下剤や便秘薬の濫用の問題点とその対処法	
……加藤 公敏・水野 滋章・森山 光彦	275(2)
便秘症に対する薬物療法	
……神谷 武・鹿野美千子・城 卓志	279(2)
便秘症に対する排便や浣腸の適応・禁忌と手技の実際	
……加藤 真吾・屋嘉比康治	282(2)
〈便通異常をきたしやすい病態と対処法〉	
高齢者の便通異常—憩室症や虚血性大腸炎との関連も含め……高本 俊介・三浦総一郎	286(2)
便通異常の性差医療—妊娠を中心に	
……中尾絵美子・飯塚 文瑛	290(2)
消化管術後の便通異常	
……福島 浩平・羽根田 祥・渡辺 和宏	295(2)
過敏性腸症候群に伴う便通異常	
……本郷 道夫・金村 政輝	298(2)
癌の治療に伴う便通異常—化学療法を中心に	
……関川 高志・野村 憲弘・松川 正明	302(2)
薬剤の副作用としての便通異常	
……内藤 裕二	307(2)
全身疾患に伴う便通異常	
……辰口 篤志・坂本 長逸	312(2)
〈座談会〉	
日常診療で便通異常にどう対応するか	
……三浦総一郎・千葉 俊美・今枝 博之・田代 博一	316(2)

■ 内科医のための気管支喘息と COPD 診療

〈気管支喘息，COPD の新たな認識〉

COPD，喘息の診断と検査のポイントは	
……塩谷 隆信・佐竹 将宏・佐藤 一洋・佐野 正明	376(3)
一般内科患者に COPD は隠れている	

……永井明日香・桑平 一郎	380(3)
喘息死ゼロ作戦とは……大田 健	384(3)
COPD にもいろいろある—COPD 表現型	
……一和多俊男・清水谷尚宏・内海 健太	388(3)
COPD には多面的の評価が必要……小賀 徹	392(3)
気管支喘息にもいろいろある	
……正木 克宜・浅野浩一郎	396(3)
気管支喘息はアレルギー疾患か	
……伊藤 功朗・新実 彰男	400(3)
COPD と喘息の合併，オーバーラップ症候群とは	
……青柴 和徹	406(3)
〈気管支喘息，COPD の診断・治療をする前に〉	
One airway, one disease とは……鈴木 朋子	411(3)
アレルギー性気管支肺アスペルギルス症とは—気管支喘息との鑑別が重要……濱田 薫	416(3)
リンパ脈管筋腫症とは—COPD との鑑別が重要	
……安藤 克利・市川 昌子・瀬山 邦明	420(3)
COPD に合併する肺癌には注意	
……坂東 政司	424(3)
COPD に合併する肺高血圧症とは	
……花岡 正幸	430(3)
〈増悪診断と治療が重要〉	
気管支喘息の増悪はどう治療すべきか	
……丸岡秀一郎・橋本 修	434(3)
咳喘息とは……藤村 政樹	438(3)
COPD の増悪とは……山口佳寿博	442(3)
COPD 増悪の治療戦略とは	
……平田 一人・浅井 一久	446(3)
COPD を基礎疾患とした肺炎をどう考えるか	
……和田 裕雄・後藤 元	450(3)
〈気管支喘息，COPD 安定期の治療〉	
軽症気管支喘息の治療はどうあるべきか	
……本川 郁代・東元 一晃・井上 博雅	456(3)
中等症以上の気管支喘息の治療はどうあるべきか	
……棟方 充	461(3)
COPD の内科的最大限の治療とは	
……植木 純・熱田 了・十合 晋作	466(3)
喘息と COPD 治療における抗コリン薬と β_2 刺激薬の位置づけ……一ノ瀬正和	470(3)
COPD と喘息—オーバーラップ症候群の治療はどうすべきか……坂本 透・檜澤 伸之	474(3)
COPD，喘息には増悪予防が重要	
……山谷 陸雄	478(3)
〈在宅医療と病診連携〉	
COPD に在宅酸素療法が必要なときは	
……濱田 泰伸	483(3)
COPD に NPPV 治療が必要なときは	
……石原 英樹	486(3)
気管支喘息，COPD の管理には地域医療連携が必要	
……津田 徹	492(3)

〈座談会〉

プライマリケアのための気管支喘息と COPD 診療	……巽 浩一郎・中村 真人・	
	桂 秀樹・磯辺 雄二	498(3)

■ 神経内科エマージェンシー日常臨床でどこまで対応できるか

〈神経内科エマージェンシー — 神経救急と日常臨床〉
神経救急・集中治療と神経蘇生

……永山 正雄	556(4)
救命外来における神経救急……三宅 康史	560(4)
〈これらの症状に遭遇したときに何を考えるか—診断へのアプローチ〉	

【遭遇することの多い症状】

意識障害……石原 正樹・山口 修平	565(4)
失神……山元 良・堀 進悟	570(4)
頭痛……濱田 潤一	575(4)
めまい……室伏 利久	580(4)
運動麻痺……徳岡健太郎・北川 泰久	584(4)
痙攣……正崎 泰作・辻 貞俊	588(4)

【早期の対応が必要な症候】

精神徴候(せん妄)

……森口 翔・三村 将	592(4)
認知症……高橋 恵	597(4)
視力・視野障害……柴田 護	602(4)
複視(眼球運動障害)、瞳孔異常	
……森田 陽子	606(4)

構音障害・嚥下障害

……加藤可奈子・寺山 靖夫	610(4)
---------------	--------

平衡機能障害、運動失調

……竹田 育子・山脇 健盛	614(4)
不随意運動……松本 英之・宇川 義一	618(4)
感覚障害……山下謙一郎・吉良 潤一	622(4)

排尿・排便障害

……木村 俊紀・中里 良彦・荒木 信夫	626(4)
---------------------	--------

〈どのような治療を行うか—実践的アプローチ〉

脳血管障害：脳出血

……井上 泰輝・豊田 一則	630(4)
---------------	--------

脳血管障害：クモ膜下出血

……中村 元・藤中 俊之・吉峰 俊樹	634(4)
--------------------	--------

脳血管障害：脳梗塞……阿久津二夫

脳血管障害：脳静脈血栓症

……田口 芳治・田中耕太郎	644(4)
---------------	--------

てんかん重積

……大門 康寿・竹川 英宏・平田 幸一	648(4)
---------------------	--------

重症筋無力症クリーゼ……鈴木 重明

Guillain-Barré 症候群

……中嶋 秀樹・吉村 俊祐・本村 政勝	656(4)
---------------------	--------

髄膜炎、脳炎……鈴木 裕

脱髄疾患(MS、NMO)の急性増悪

……佐藤 滋・藤原 一男	666(4)
--------------	--------

頭部外傷……今野 慎吾・北原 孝雄

脊髄損傷

……金子慎二郎・塩田 匡宣・白井 宏・	
---------------------	--

中村 雅也・戸山 芳昭・松本 守雄	676(4)
-------------------	--------

腫瘍による脊髄圧迫性病変

……金子慎二郎・塩田 匡宣・白井 宏・	
---------------------	--

中村 雅也・戸山 芳昭・松本 守雄	680(4)
-------------------	--------

内科的原因による意識障害(低血糖, CO₂ナルコーシス)お

よび中毒……松下 隆司・下濱 俊	684(4)
------------------	--------

〈座談会〉

神経内科エマージェンシーへの対応—専門医にどこまで相談するか

……濱田 潤一・長沼裕一郎・	
----------------	--

武田 英孝・後藤 淳	688(4)
------------	--------

■ 糖尿病治療薬 2012—皆が知りたい新しい治療 A to Z

〈序章〉

インクレチンが変える糖尿病標準治療—現状と今後の

展望……黒瀬 健・清野 裕

これが第一！ 食事と運動の処方箋—薬を使う前に！

……津田 謹輔	766(5)
---------	--------

〈変化する抗糖尿病薬内服治療〉

DPP-4 阻害薬による膵ラチ島制御

……山田祐一郎	770(5)
---------	--------

DPP-4 阻害薬が蘇らせる GIP

……原田 範雄・稲垣 暢也	773(5)
---------------	--------

【DPP-4 阻害薬 私はこう使う】

ビルダグリプチン

……佐藤 文紀・辻野 元祥	777(5)
---------------	--------

アログリプチン……梶原 隆・佐藤 譲	779(5)
--------------------	--------

シタグリプチン……坂田 道教・植木浩二郎	783(5)
----------------------	--------

新しいグリニド薬であるレパグリニドの使い方

……森 豊・谷口由紀子	785(5)
-------------	--------

メトグルコで変わるメトホルミン治療

……岡畑 純江・柴 輝男	791(5)
--------------	--------

DPP-4 阻害薬から学ぶ SU 薬の適正使用

……矢部 大介・清野 裕	797(5)
--------------	--------

インクレチンアナログと併用するスルホニルウレア

(SU)薬—使い方のポイント

……前田 貴子・荒木 栄一	801(5)
---------------	--------

処方が漸減している α グルコシダーゼ阻害薬(α GI)

の将来……竹田 孔明・谷澤 幸生	805(5)
------------------	--------

チアゾリジン系薬(TZD)の確かな手応え

……岩部 真人・山内 敏正・門脇 孝	809(5)
--------------------	--------

〈自己注射療法の新たな展開〉

GLP-1 (glucagon-like peptide-1) アナログ製剤リラグ

ルチド(ビクトーザ®)のよい適応となるのは？

……五十川陽洋・柴 輝男	813(5)
--------------	--------

これは使える GLP-1 受容体作動薬エキセナチド(バイエッタ®)……………	陣内 秀昭 817(5)
GLP-1 アナログ製剤のホルモン制御と食欲……………	亀井 信二・加来 浩平 820(5)
外来で便利なインスリン療法導入:BOT(basal supported oral therapy)……………	小林 高明・小田原雅人 824(5)
プレミクスドインスリン 2 回打ちは捨てたもんじゃない……………	吉岡 成人 829(5)
超速効型あるいは混合型 3 回注射法によるインスリン導入……………	山城 慶子・弘世 貴久・綿田 裕孝 834(5)
基本は 4 回打ちの 2 型糖尿病の強化インスリン療法……………	大塚雄一郎・石原 寿光 838(5)
誰でも始められるインスリンポンプ療法の ABC……………	内野 泰・綿田 裕孝 842(5)
不安定な 1 型糖尿病治療のコツ……………	西村 理明 846(5)
1 型糖尿病のインスリン頻回注射による管理……………	卯木 智・前川 聡 851(5)
糖尿病合併妊娠のインスリン管理のコツ……………	柳沢 慶香・内潟 安子 856(5)
ICU での血糖管理の極意……………	松田 昌文 861(5)
〈合併症の治療と管理に役立つ知識と処方〉	
循環器にも効く? DPP-4 阻害薬……………	坂東 泰子・室原 豊明 864(5)
疼痛スコアを使ったプレガバリンの効果……………	中村 二郎 868(5)
ロードマップ(ROADMAP)が新たに開く腎症治療……………	常喜 信彦・田中 友里 872(5)
レニン・アンジオテンシン系(RAS)を使った網膜症抑制……………	西川 武志・久木留大介・荒木 栄一 876(5)
フェノフィブラートの網膜症への効果……………	三松 貴子・坂本健太郎・柴 輝男 880(5)
〈座談会〉	
糖尿病治療のニュージェネレーション……………	柴 輝男・山内 敏正・山田祐一郎・矢部 大介 886(5)

■ 新規経口抗凝固薬の光と影

〈経口抗凝固薬が必要な病態とその動向〉	
経口抗凝固薬と必要な病態……………	坂田 洋一 948(6)
体内に人工物を入れたときの抗血栓療法について……………	吉田 俊伸・高山 守正 952(6)
抗凝固薬と抗血小板薬の薬効と適応の差異……………	高野 勝弘・尾崎由基男 957(6)
〈新規経口抗凝固薬とは〉	
新規経口抗凝固薬:ワルファリンとどこが違うのか?……………	後藤 信哉 960(6)

新規経口抗トロンビン薬ダビガトランの特徴……………	堀 正二 964(6)
新規経口 Xa 阻害薬リバーロキサバン, アピキサバン, エドキサバン……………	竹下 享典・小嶋 哲人 970(6)
〈新規経口抗凝固薬の臨床試験とエビデンス〉	
最初の大規模臨床試験 SPORTIF……………	是恒 之宏 976(6)
RE-LY 試験とその解釈……………	原田 和昌 980(6)
アピキサバンと ARISTOTLE 試験, AVERROES 試験……………	棚橋 紀夫 984(6)
リバーロキサバンと ROCKET AF 試験……………	長尾 毅彦・内山真一郎 989(6)
エドキサバンと ENGAGE-AF 試験……………	山下 武志 994(6)
〈新旧経口抗凝固薬の薬理学的特徴に基づいた使用上の注意〉	
ワルファリンと PT-INR……………	矢坂 正弘 998(6)
新規経口抗凝固薬の薬効マーカーは考えられるか……………	大森 司 1002(6)
APTT と内因系凝固機能……………	橋口 照人・一瀬 白帝 1008(6)
腎機能障害, 肝機能障害, 糖尿病, 高血圧, 高齢者などの場合……………	桑島 巖 1012(6)
〈新規経口抗凝固薬とワルファリンの類似点と相違点〉	
心房細動と脳卒中予防におけるワルファリンの使用実態……………	戸田 恵理・後藤 信哉 1019(6)
新規経口抗凝固薬導入における注意点……………	瀧澤 俊也 1022(6)
【新規経口抗凝固薬とワルファリンの選択】	
高血圧を合併した心房細動症例……………	中神理恵子・島田 和幸 1026(6)
腎機能障害を合併した心房細動症例……………	森本 聡・市原 淳弘 1030(6)
冠動脈疾患を合併した心房細動症例……………	伊苅 裕二 1034(6)
肝機能障害を合併した心房細動症例……………	加川 建弘 1038(6)
〈新規経口抗凝固薬の課題〉	
臨床試験の世界と実臨床の世界の差異をどう乗り越えるか?……………	後藤 信哉 1042(6)
出血に寄与しない凝固因子とその阻害—Ⅺ因子とⅫ因子……………	浅田祐士郎 1046(6)
服用中に頭蓋内出血を起こしたらどうするか……………	佐藤祥一郎・豊田 一則 1050(6)
服用中に消化管出血を起こしたらどうするか……………	上村 直実 1054(6)
〈座談会〉	
新規経口抗凝固薬を語る……………	後藤 信哉・大森 司・是恒 之宏・寺山 靖夫 1058(6)

■ 肝硬変 update—より良き診療のために

〈より良き診療のために〉

肝硬変とは……………伊藤 敬義・井廻 道夫 1114(7)

肝硬変診療ガイドラインの使い方

……………福井 博 1118(7)

〈肝硬変の原因, 疫学〉

原因別実態……………徳本 良雄・恩地 森一 1122(7)

アルコール, 肥満と肝硬変

……………馬渡 誠一・宇都 浩文 1126(7)

〈肝硬変の診断法〉

ベッドサイドの診察法—病歴・患者背景, 身体所見

……………井戸 章雄・楠 一晃・坪内 博仁 1130(7)

血液検査でどこまで診断できるか

……………神代 龍吉 1134(7)

ウイルス検査の進め方……………渋谷 明隆 1138(7)

画像検査(CT, MRI)の留意点

……………中村 功一・松井 修 1144(7)

腹部エコー検査と新たな画像診断

……………矢田 典久・工藤 正俊 1150(7)

腹腔鏡・肝生検の位置づけ

……………長谷部千登美・細木 卓明・関谷 千尋 1155(7)

〈肝硬変合併症の病態生理と診断法〉

門脈圧亢進症における全身血行動態の変化

……………古市 好宏・市村 茂輝・森安 史典 1158(7)

門脈圧亢進症性胃腸症

……………能田 貞治・梅垣 英次・樋口 和秀 1162(7)

腹水, 特発性細菌性腹膜炎

……………山崎 正晴・福井 博 1166(7)

肝性脳症……………鈴木 一幸 1170(7)

肝肺症候群……………小賀 徹 1174(7)

〈肝硬変の治療〉

栄養療法のあるあり方

……………森脇 久隆・白木 亮・華井 竜徳 1178(7)

抗ウイルス療法でどこまで治せるか—B 型肝硬変

……………保坂 哲也・熊田 博光 1182(7)

抗ウイルス療法でどこまで治せるか—C 型肝硬変

……………泉 並木 1186(7)

肝庇護療法と抗線維化療法……………名越 澄子 1190(7)

〈肝硬変合併症の治療〉

食道・胃静脈瘤の内視鏡治療……………小原 勝敏 1194(7)

バルーン閉塞下逆行性経静脈塞栓術(B-RTO)

……………赤星朋比古 1199(7)

門脈圧亢進症の薬物療法

……………植原 義之・金沢 秀典・坂本 長逸 1204(7)

腹水, 特発性細菌性腹膜炎……………福井 博 1208(7)

肝腎症候群の治療・植村 正人・福井 博 1212(7)

耐糖能異常の病態と治療

……………吉治 仁志・福井 博 1218(7)

肝性脳症の治療

……………加藤 章信・佐原 圭・鈴木 一幸 1222(7)

部分的脾動脈塞栓療法(PSE)……………清家 正隆 1226(7)

肝癌予防の基礎と臨床

……………渡邊 丈久・田中 基彦・佐々木 裕 1230(7)

〈肝硬変診療のトピックス〉

アルブミン製剤をどう使うか……………安村 敏 1233(7)

肝硬変に対する肝移植の現況と問題点

……………市田 隆文・玄田 拓哉・平野 克治 1234(7)

自己骨髄細胞を用いた肝修復再生療法の現状

……………高見 太郎・寺井 崇二・坂井田 功 1238(7)

〈座談会〉

肝硬変診療の最近の話題—全身を診ることの意味

……………福井 博・西尾 博至・

國分 茂博・齋藤 英胤 1240(7)

■ 痛風・高尿酸血症診療の新展開

〈序章〉

痛風・高尿酸血症をめぐる動向

……………細谷 龍男 1304(8)

高尿酸血症・痛風の治療ガイドライン(第2版)の読み

方……………山中 寿 1308(8)

〈痛風・高尿酸血症の基礎知識〉

最古の生活習慣病: 痛風の歴史

……………酒井 シヅ 1313(8)

GWAS(ゲノムワイド関連解析)からみた血清尿酸値

を決定する遺伝的多型……………鎌谷 直之 1316(8)

血清尿酸値の遺伝要因を決定づける尿酸トランスポー

ター総説……………細山田 真 1321(8)

血清尿酸値を左右する環境要因としての食事・生活習

慣……………藤森 新 1324(8)

高尿酸血症の疫学とその臨床的リスク

……………箱田 雅之 1329(8)

小児の血清尿酸値と高尿酸血症

……………久保田 優 1334(8)

痛風発作の分子メカニズム……………赤星 透 1337(8)

〈内科医が診る痛風関節炎とその臨床〉

痛風の臨床像と診断のコツ……………谷口 敦夫 1340(8)

単関節炎の診断と鑑別診断……………上野 征夫 1343(8)

痛風関節炎の治療—最近の進歩

……………益田 郁子 1347(8)

健診で高尿酸血症を指摘された患者の病態

……………辻 裕之 1352(8)

低尿酸血症の臨床的取り扱い……………市田 公美 1355(8)

痛風クリニックのマネジメント

……………大山 博司 1358(8)

二次性高尿酸血症と二次性痛風

……………高木 和貴・上田 孝典 1362(8)

〈高尿酸血症の新展開〉

高尿酸血症と高血圧の相互関連

……………土橋 卓也 1367(8)

高尿酸血症は心血管病変のリスクか?

……杉原 志伸・山本 一博・久留 一郎 1371(8)	メタボリックシンドロームにおける尿酸の関与
……益崎 裕章・仲地佐和子・友寄 毅昭 1377(8)	高尿酸血症と慢性腎臓病(CKD)の関連
……大野 岩男 1381(8)	尿路尿酸結石の診かた
……戸澤 啓一・郡 健二郎 1387(8)	〈血清尿酸値をいかに下げるか〉
高尿酸血症治療の基本戦略……山中 寿 1391(8)	アロプリノール……寺井 千尋 1394(8)
新規高尿酸血症治療薬フェブキソスタット	……庄司 拓仁・山本 徹也 1398(8)
ベンズプロマロンと尿酸排泄薬	……森脇 優司 1402(8)
尿酸降下薬以外で尿酸値に影響する薬剤	……浜田 紀宏・渡邊ありさ・谷口 晋一 1406(8)
腫瘍融解症候群のマネジメント	……山内 高弘・上田 孝典 1409(8)
高尿酸血症・痛風患者の生活指導	……嶺尾 郁夫・末原 節代・岡内 幸義 1412(8)
〈座談会〉	痛風と高尿酸血症—日常診療におけるマネジメント
……山中 寿・大山 博司・	長瀬 満夫・村川 祐一 1416(8)

■ 内科診断の本道—病歴と身体診察情報からどこまでわかるか？

〈総論〉

患者の言葉を医学的に変換する

……野口 善令 1480(9)	Evidence-based physical diagnosis
……南郷 栄秀 1486(9)	診断サポートツールとは何か—その活用法
……杉岡 隆 1492(9)	

〈感染症〉

敗血症……大曲 貴夫 1496(9)	感染性心内膜炎……土井 朝子 1500(9)
--------------------	------------------------

〈骨・関節・筋疾患〉

痛風・ピロリン酸カルシウム沈着症(CPPD)	……六反田 諒・岸本 暢将 1504(9)
関節リウマチ……袴田 康弘 1508(9)	リウマチ性多発筋痛症……立松 充好 1514(9)

〈循環器疾患〉

心原性失神……志水 太郎・徳田 安春 1518(9)	肺塞栓症
----------------------------	------

……竹島 太郎・野口 善令・福原 俊一 1524(9)	心不全……石川 譲治 1530(9)
-----------------------------	--------------------

〈呼吸器疾患〉

COPD

……有村 保次・松元 信弘・中里 雅光 1536(9)	
-----------------------------	--

間質性肺疾患……小山 弘 1540(9)	〈消化器疾患〉
----------------------	---------

潰瘍性大腸炎……正田 良介 1546(9)	虫垂炎
-----------------------	-----

……桂 守弘・我部 敦・山城 敏光 1550(9)	胆嚢炎・胆管炎
---------------------------	---------

……野々垣浩二・榊原 聡介・印牧 直人 1554(9)	〈腎泌尿器・女性器疾患〉
-----------------------------	--------------

腎盂腎炎

……山口 真・志水 英明・藤田 芳郎 1558(9)	急性細菌性前立腺炎
----------------------------	-----------

……久末 伸一・堀江 重郎 1564(9)	骨盤内炎症性疾患(PID)……尾原 晴雄 1568(9)
-----------------------	------------------------------

〈血液疾患〉

特発性(免疫性)血小板減少性紫斑病(ITP)

……東 光久 1572(9)	悪性リンパ腫……中村 文明 1578(9)
----------------	-----------------------

〈内分泌・代謝疾患〉

甲状腺機能低下症……平田 匠 1582(9)	副腎不全……横田 健一・柴田 洋孝 1588(9)
------------------------	---------------------------

〈神経疾患〉

馬尾症候群……関口 美穂・紺野 慎一 1594(9)	髄膜炎……佐久嶋 研・佐々木秀直 1598(9)
----------------------------	--------------------------

くも膜下出血……宜保光一郎 1602(9)	〈座談会〉
-----------------------	-------

内科診断のパラダイムシフト

……福原 俊一・野口 善令・	野々垣浩二・徳田 安春 1606(9)
----------------	---------------------

■ 外来・病棟でのプライマリケアに必要な感染症の知識

〈感染症診療の原則〉

感染症診療をどう進めていくか

……大曲 貴夫 1672(10)	感受性検査の読み方, 培養陰性時の考え方
------------------	----------------------

……上蓑 義典・細川 直登 1676(10)	〈頻度の高い病態〉
------------------------	-----------

急性上気道炎……本村 和久 1680(10)	肺炎……喜舎場朝雄 1684(10)
------------------------	--------------------

尿路感染症……土井 朝子 1690(10)	皮膚軟部組織感染症, 動物咬傷
-----------------------	-----------------

……有馬 丈洋・丹羽 一貴・本郷 偉元 1694(10)	骨髄炎, 糖尿病性足壊疽
------------------------------	--------------

……齋藤 真・畠山 修司 1698(10)	急性腸炎……小林 健二 1704(10)
-----------------------	----------------------

不明熱……成田 雅 1708(10)	〈緊急性の高い病態〉
--------------------	------------

腹腔内感染症……上田 晃弘 1714(10)	細菌性髄膜炎……高橋 祐二 1718(10)
------------------------	------------------------

敗血症, 重症敗血症, 敗血症性ショック—重症敗血症

の認識と敗血症性ショックの初期マネジメント	湯村 和子 1889(12)
……小松 昌道 1724(10)	
好中球減少に伴う発熱	倉井 華子 1730(10)
脾臓摘出患者の発熱	岸田 明博 1734(10)
〈見逃したくない疾患〉	
感染性心内膜炎	坂本 梨乃・上原 由紀 1738(10)
結核	神谷 亨 1742(10)
マラリア	竹下 望 1746(10)
バイオテロリズム	岩田健太郎 1752(10)
〈専門家に相談すべき疾患〉	
多剤耐性グラム陰性桿菌	荒岡 秀樹 1756(10)
移植後の感染症	本田 仁 1760(10)
HIV 感染症	相野田祐介 1766(10)
渡航外来総論	氏家 無限 1772(10)
〈抗菌薬の適正使用〉	
Antimicrobial stewardship (抗菌薬適正使用総論)	
……北薗 英隆 1776(10)	
併用療法が必要な場合	矢野 晴美 1779(10)
治療期間を安全に短くできる場合とそうでない場合	
……椎木 創一 1782(10)	
抗菌薬を積極的に使わない場合	
……鈴木 龍児・川島 篤志 1786(10)	
〈感染コントロール〉	
Hand hygiene, Isolation (手指衛生, 個室隔離)	
……吉田 理香 1790(10)	
医療関連感染症予防	森澤 雄司 1796(10)
〈座談会〉	
一般外来, 救急における感染症診療	
……柳 秀高・成田 雅・	
山中 克郎・小野 正博 1800(10)	

■連携して診る腎疾患—タイムリーな紹介から患者マネジメントまで

〈連携して腎疾患を診る時代〉	
市民啓発活動の重要性—日本慢性腎臓病対策協議会の活動から	
……加藤佐和子・安田 宜成・松尾 清一 1860(12)	
CKD の重症度分類 2012 を用いた患者紹介・逆紹介のポイント	今井 圓裕 1865(12)
CKD 病診連携パスの利用と教育入院の実際	
……八田 告 1870(12)	
コメディカルとの連携活動, 特定健診をどう活用するか	赤井 靖宏 1876(12)
栄養ケアステーション導入の試み—腎疾患重症化予防のための戦略研究 (FROM-J) の活動から	
……甲斐 平康・斉藤 知栄・山縣 邦弘 1880(12)	
〈絶対に見逃してはいけない腎疾患診察のポイント〉	
現病歴と身体所見からわかること	
……伊藤 孝史 1884(12)	
検尿の見方・考え方—尿所見からわかること	

血液検査・尿検査のチェックポイントと新しいバイオマーカー	
……森 潔・向山 政志・中尾 一和 1894(12)	
画像検査からわかるようになったこと	
……岡田 浩一 1900(12)	
〈腎機能を悪化させないために行うべき治療とは〉	
腎疾患治療のストラテジー	
……大山友香子・志水 英明・藤田 芳郎 1904(12)	
降圧薬の選択と降圧目標値—どの降圧薬でどれくらい血圧を下げるのか?	
……此下 忠志・山田 実夏・市川 麻衣 1908(12)	
エリスロポエチン製剤をいつ開始し, どの程度貧血を改善すればよいのか?	
……栗山 哲・大塚 泰史 1912(12)	
CKD にみられる高尿酸血症は治療すべきか?	
……内田 俊也 1918(12)	
脂質療法には腎保護作用があるのか—スタチンを中心に	
……木村 秀樹・岩野 正之 1922(12)	
カルシウムとリンはどうコントロールするか?	
—CKD-MBD の概念と CKD の進行抑制における注意点	角田 隆俊 1926(12)
軽症 CKD の食事療法のコツとは?	
……前田 益孝 1932(12)	
経口吸着炭は, いつ開始すべきか?	
……小西 一典・中野 茂・古家 大祐 1935(12)	
血液浄化療法の選択について, どう説明するか	
……阿部 倫明・清元 秀泰 1938(12)	
今後期待される新治療法とは?	
……平川 陽亮・南学 正臣 1944(12)	
〈腎疾患の鑑別とマネジメントの要点〉	
本邦腎疾患の最近の傾向—腎生検登録研究 (J-RBR) から見たこと	横山 仁 1948(12)
急速進行性腎炎・血管炎を見逃さないために	
……菊池 正雄・藤元 昭一 1952(12)	
薬剤性腎障害を疑ったら	
……井上 紘輔・寺田 典生 1958(12)	
ネフローゼ症候群を疑ったら	
……川崎 智子・古巣 朗・西野 友哉 1964(12)	
糖尿病性腎症の病期分類を日常診療でどう考えるか	
……遠山 直志・古市 賢吾・和田 隆志 1969(12)	
IgA 腎症の新重要度分類を日常診療でどう生かすか	
……川村 哲也 1974(12)	
〈座談会〉	
理想的な連携体制の構築のためにどう働きかけるか	
……岩野 正之・赤井 靖宏・	
八田 告・宮崎 正信 1980(12)	

■急性心不全への挑戦

〈急性心不全の現状〉

日本の現状を知る：欧米との比較	梶本 克也 2048(13)
急性心不全治療ガイドラインを読む	青山 直善 2052(13)
〈診断・病態把握〉	
急性心不全の診断法	加藤真帆人 2058(13)
身体所見のとり方	室生 卓 2066(13)
血液生化学検査・バイオマーカーの見方	鈴木 聡・竹石 恭知 2072(13)
心エコーによる評価法	有田 武史 2076(13)
非侵襲・低侵襲的評価	菊池 有史 2082(13)
侵襲的評価	品川 弥人 2088(13)
〈急性心不全の治療〉	
【治療の基本】	
病態から考える治療選択の流れ—ガイドラインを踏まえて	安村 良男 2092(13)
【急性期薬剤の適応】	
血管拡張薬	酒井 哲郎 2098(13)
利尿薬	猪又 孝元 2102(13)
強心薬	谷口 達典・坂田 泰史 2106(13)
不整脈治療	上野 亮・小林 義典 2111(13)
【非薬物療法の適応】	
呼吸管理	弓野 大 2116(13)
補助循環	
……青景 聡之・山本 剛・田中 啓治 2122(13)	
人工心臓	絹川弘一郎 2126(13)
腎代替療法	佐々木 彰・柴垣 有吾 2130(13)
〈症例から学ぶ急性心不全診療の実際〉	
心原性肺水腫患者	石原 嗣郎・古賀 徳之 2136(13)
体液貯留患者	白壁 章宏 2142(13)
低灌流患者	大谷 朋仁 2148(13)
急性冠症候群患者	
……海老名俊明・木村 一雄 2152(13)	
右心不全患者	南雄 一郎 2156(13)
〈新たな急性心不全診療の展開〉	
急性期から慢性期へ：ケアをどうすべきか？	
……池亀 俊美 2160(13)	
慢性期へ向けての課題と対策	
……稲住 英明・佐藤 幸人 2166(13)	
急性心不全治療のエビデンス構築にむけて	
……佐藤 直樹 2170(13)	
〈座談会〉	
急性心不全診療をより良くするために	
……佐藤 直樹・谷田貝茂雄・ 笹尾健一郎・池亀 俊美 2174(13)	
【手を見て気づく内科疾患】	
強皮症による手指短縮	松村 正巳 1(1)
爪甲色素線条：悪性黒色腫の鑑別が最も重要	

……松村 正巳 187(2)	
黒色爪：爪母でのメラニン色素産生の亢進	
……松村 正巳 369(3)	
赤い爪半月：血流増加，静脈拡張の反映	
……松村 正巳 549(4)	
白色爪：肝硬変，腎不全で観察される	
……松村 正巳 755(5)	
ミュルケ線：低アルブミン血症・化学療法で認める	
……松村 正巳 941(6)	
溝渠状中央爪異栄養症：全身性疾患， 皮膚疾患に注意する	松村 正巳 1107(7)
乾癬性関節炎：いくつかのタイプがある	
……松村 正巳 1297(8)	
総指伸筋腱断裂：関節リウマチの合併症	
……松村 正巳 1473(9)	
デュビュイトラン拘縮：手掌腱膜の肥厚と短縮	
……松村 正巳 1665(10)	
多発性単神経炎：正中神経，尺骨神経障害の徴候	
……松村 正巳 1853(12)	
複数のボー線：化学療法の痕跡	
……松村 正巳 2041(13)	

【感染症フェローのシンガポール見聞録】

アジアの先進国・多民族国家シンガポール	
……馳 亮太 3(1)	
トラベルクリニックと狂犬病	馳 亮太 189(2)
風邪の鑑別に「デンギュー」	馳 亮太 371(3)
ゲイランのSTDコントロール	馳 亮太 551(4)
シンガポールの医学部事情	馳 亮太 757(5)
移民国家の結核事情	馳 亮太 943(6)
ボーダレス時代のメディカルツーリズム	
……馳 亮太 1109(7)	
シンガポールの医療制度	馳 亮太 1299(8)
SARSとの闘いを経て	馳 亮太 1475(9)
シンガポール版OPAT	馳 亮太 1667(10)
耐性菌との闘い	馳 亮太 1855(12)
アジアの中の日本	馳 亮太 2043(13)

【Festina lente】

淡々と	佐藤 裕史 151(1)
窮屈ということ	佐藤 裕史 333(2)
ただ憧れを知る人ぞ	佐藤 裕史 514(3)
「積ん読」三十年	佐藤 裕史 715(4)
忍ぶれど色に出にけり	佐藤 裕史 903(5)
初々しさ	佐藤 裕史 1083(6)
ドイツふたたび	佐藤 裕史 1269(7)
遊びどころ	佐藤 裕史 1447(8)
医師の絵	佐藤 裕史 1651(9)
通読ということ	佐藤 裕史 1817(10)
音と声と心と	佐藤 裕史 2007(12)

文化的雪かき……………佐藤 裕史 2201(13)

【目でみるトレーニング】

問題	646	森 由弘	152(1)
	647	村本 弘昭	153(1)
	648	今井 陽俊	154(1)
	649	野路 善博	343(2)
	650	村尾 敏	344(2)
	651	河岸由紀男	345(2)
	652	藤原 敏弥	518(3)
	653	星 進悦	519(3)
	654	藤巻 克通	520(3)
	655	佐伯 恭昌・小塚 輝彦	707(4)
	656	齋藤由扶子	708(4)
	657	広瀬 保夫	709(4)
	658	今井 陽俊	907(5)
	659	星 進悦	908(5)
	660	野路 善博	909(5)
	661	村本 弘昭	1073(6)
	662	佐伯 恭昌・小塚 輝彦	1074(6)
	663	栗井 一哉	1075(6)
	664	藤巻 克通	1257(7)
	665	柳川 洋一	1258(7)
	666	野田 直孝	1259(7)
	667	後東 久嗣	1434(8)
	668	新井 修	1435(8)
	669	浅田 朋彦・福山 秀直	1436(8)
	670	川瀬 共治	1625(9)
	671	山本 舜悟	1626(9)
	672	野田 直孝	1627(9)
	673	野田 直孝	1824(10)
	674	浅田 朋彦・福山 秀直	1825(10)
	675	松尾 裕央	1826(10)
	676	新井 修	2001(12)
	677	鳥飼 圭人	2002(12)
	678	赤堀 弘	2003(12)
	679	木田 耕太	2206(13)
	680	柳川 洋一	2207(13)
	681	野田 直孝	2208(13)

【演習・循環器診療】

めまい・ふらつきを愁訴に来院した女性患者の一例	……………今井 靖	162(1)
体液貯留・低ナトリウム血症の管理に難渋した虚血性心筋症の1例	……………今井 靖・稲島 司	338(2)
肝臓ラジオ波治療後、徐脈が遷延した一例	……………今井 靖・杉山 裕章・朝田 一生	532(3)
下腿浮腫・疼痛を呈した男性患者の一例	……………今井 靖	734(4)
頻拍発作で受診した75歳男性患者		

……………今井 靖 918(5)

【アレルギー膠原病科×呼吸器内科 合同カンファレンス】

関節リウマチ患者の急性呼吸不全	……………岡田 正人・仁多 寅彦	168(1)
ANCA陽性血管炎の間質性肺炎	……………岡田 正人・仁多 寅彦	349(2)
生物学的製剤開始後の間質性肺炎増悪	……………岡田 正人・仁多 寅彦	526(3)

【皮膚科×アレルギー膠原病科 合同カンファレンス】

中年男性の発熱・皮疹・関節炎	……………岡田 正人・衛藤 光	717(4)
胃腸炎に対する抗菌薬服用後に皮疹が増悪した若年男性	……………岡田 正人・衛藤 光	913(5)
発熱と多関節炎の高齢女性	……………岡田 正人・衛藤 光	1084(6)
皮疹の明らかでない末梢神経障害	……………岡田 正人・衛藤 光	1263(7)
発熱、皮疹、倦怠感	……………岡田 正人・衛藤 光	1448(8)
頭痛・眩暈・感音性難聴の高齢女性	……………岡田 正人・衛藤 光	1631(9)
海外渡航者の発熱と皮疹	……………岡田 正人・衛藤 光	1836(10)
急速進行性の皮膚硬化	……………岡田 正人・衛藤 光	2008(12)
皮疹と体重減少	……………岡田 正人・衛藤 光	2202(13)

【医事法の扉 内科編】

医療訴訟のしくみ(3)	……………福永 篤志	174(1)
医療訴訟のしくみ(4)	……………福永 篤志	354(2)
医療訴訟のしくみ(5)	……………福永 篤志	536(3)
診断書交付義務	……………福永 篤志	730(4)
応招義務(1)	……………福永 篤志	928(5)
応招義務(2)	……………福永 篤志	1094(6)
応招義務(3)	……………福永 篤志	1274(7)
診療録記載義務	……………福永 篤志	1458(8)
療養指導義務	……………福永 篤志	1652(9)
無診察治療等の禁止	……………福永 篤志	1822(10)
判例上の義務(1)	……………福永 篤志	2026(12)
判例上の義務(2)	……………福永 篤志	2198(13)

【研修おたく 指導医になる】

New Year's Resolution—決意表明	……………白井 敬祐	357(2)
ゴールの設定とフィードバックのこつ	……………白井 敬祐	531(3)
変わり身の早さ—アメリカ vs 日本		

………白井 敬祐 733(4)	あたたかく見守る——Be patient!
………白井 敬祐 923(5)	ベッドサイド・ティーチング(1)
………白井 敬祐 1089(6)	ベッドサイドティーチング(2)
………白井 敬祐 1277(7)	心構えをつくる………白井 敬祐 1461(8)
緩和医療を広めたい！—Trial and error する	アメリカ………白井 敬祐 1623(9)
コミュニケーション能力は教えられるか？	………白井 敬祐 1835(10)
コンサルタント「相談された専門家」としての仕事	………白井 敬祐 2015(12)
究極のテーマーコミュニケーションをうまくとる	………白井 敬祐 2193(13)

【REVIEW & PREVIEW】

人工心臓の現状と展望………絹川弘一郎 158(1)	PEG(経皮内視鏡的胃瘻造設術)の光と影
………倉 敏郎 335(2)	くも膜下出血診療の現在
………高須俊太郎・吉田 純 515(3)	性差医療の現状と将来………天野 恵子 726(4)
基礎研究の知見を腎臓病診療に生かす	………高折 光司・柳田 素子 904(5)
EBM と診療ガイドライン………中山 健夫 1079(6)	過敏性腸症候群(IRS)の概念と治療の変遷
………永田 博司 1642(9)	変わりゆく CKD 診療………今井 圓裕 1830(10)
IgG4 関連疾患と大動脈・冠動脈病変	………石坂 信和・谷川 淳・武田 義弘 1998(12)

【こんなときどうする？ 内科医のためのリハビリテーションセミナー】

嚥下障害①入院の場合	………海老原 覚・上月 正博 722(4)
嚥下障害②外来の場合	………海老原 覚・上月 正博 924(5)
廃用①入院の場合	………坂田 佳子・上月 正博 1090(6)
廃用②外来の場合	………長坂 誠・上月 正博 1270(7)
片麻痺(脳梗塞)①入院：急性期	………渡邊 裕志・上月 正博 1454(8)
片麻痺(脳梗塞)②外来：維持期	………鈴木 文歌・上月 正博 1646(9)
呼吸①入院：人工呼吸器離脱のためのリハ	………國枝顕二郎・上月 正博 1818(10)
呼吸②外来：COPD のリハ	

………高橋 珠緒・上月 正博 2022(12)	心臓①心筋梗塞後の患者
………森 信芳・上月 正博 2212(13)	

【SCOPE】

神経内科領域の睡眠障害をどう診るか？	………鈴木 圭輔・平田 幸一 1278(7)
日本における高尿酸血症・痛風診療を支える医療構造	………山中 寿 1441(8)
米国内科学会日本支部総会・講演会 2012 報告	………柴垣 有吾・柳 秀高・白山 武司・
………小山 弘・中村 文明・錦織 宏・	岸本 暢将・福原 俊一・小林 祥泰 2194(13)

【依頼理由別に考える心臓超音波検査 とりあえずエコーの一步先へ】

依頼理由 その1 息切れの患者さんがいますが、心不全	………鶴田ひかる・香坂 俊 1636(9)
………鶴田ひかる・香坂 俊 2016(12)	

【いま、内科薬はこう使う(増刊号)】

■循環器薬

ジギタリス製剤………安村 良男 20(11)	カテコラミン系薬剤………加藤真帆人 23(11)
ホスホジエステラーゼⅢ阻害薬	………南 雄一郎・志賀 剛 26(11)
利尿ペプチド………花谷 彰久 29(11)	硝酸薬………小島 淳・小川 久雄 32(11)
冠拡張薬………朝倉 正紀 36(11)	アンジオテンシン変換酵素阻害薬(ACEI)
………佐藤 敦久・福田 誠一 40(11)	直接的レニン阻害薬………市原 淳弘 44(11)
アンジオテンシンⅡ受容体拮抗薬(ARB)	………大藏 隆文・檜垣 實男 47(11)
カルシウム(Ca)拮抗薬	………小黒 亮輔・楽木 宏実 50(11)
β遮断薬………鈴木 雅仁・磯部 光章 54(11)	α遮断薬………星出 聡・菊尾 七臣 58(11)
抗血小板薬………後藤 信哉 61(11)	抗凝固薬………三本木良紀・矢坂 正弘 65(11)
血栓溶解薬………太田 覚史・山田 典一 68(11)	プロスタグランジン製剤………板谷 英毅 71(11)
ループ利尿薬………辻野 健・増山 理 73(11)	サイアザイド系利尿薬………安東 克之 76(11)
カリウム保持性利尿薬・選択的アルドステロン拮抗薬	………名越 智古・吉村 道博 80(11)
バゾプレシン V ₂ 受容体拮抗薬………猪又 孝元 82(11)	

I 群抗不整脈薬	池田 隆徳	87(11)
III 群抗不整脈薬	村川 裕二	90(11)
IV 群抗不整脈薬(カルシウム拮抗薬)		
……藤木 明	94(11)	
肺高血圧治療薬(PDE5 阻害薬ほか)		
……池田 聡司・古賀 聖士・前村 浩二	98(11)	
禁煙補助薬	野田 慶太・朔 啓二郎	102(11)

■ 呼吸器薬

鎮咳薬		
……桂 蓉子・熱田 了・瀬山 邦明	106(11)	
去痰薬		
……関谷 充晃・吉見 格・瀬山 邦明	108(11)	
気管支拡張薬	羽白 高	112(11)
吸入ステロイド薬	池田 顕彦	116(11)
LABA と吸入ステロイド(ICS)合剤		
……池田 顕彦	119(11)	
抗ヒト IgE モノクローナル抗体		
……井上 純人・柴田 陽光	122(11)	
点鼻用局所血管収縮薬	小田垣孝雄	125(11)
点鼻ステロイド薬	小田垣孝雄	128(11)
抗ヒスタミン薬	高橋 理	130(11)
メディエーター遊離抑制薬	小山 弘	134(11)
ロイコトリエン受容体拮抗薬		
……山本 真弓・田中 明彦・足立 満	136(11)	
Th2 サイトカイン阻害薬	山田 浩和	139(11)
抗結核薬	鈴木 克洋	142(11)

■ 消化器薬

H ₂ 受容体拮抗薬	杉山 敏郎	146(11)
プロトンポンプ阻害薬	東 健	150(11)
酸中和薬	神谷 武・城 卓志	154(11)
粘膜防御因子増強薬		
……鈴木 秀和・岩崎 栄典・日比 紀文	157(11)	
ヘリコバクター・ピロリ除菌薬		
……徳永 健吾・畑 英行・高橋 信一	160(11)	
胃腸機能調整薬: ドパミン拮抗薬, セロトニン作動薬, トリメブチン	正田 良介・大和 滋	164(11)
副交感神経抑制薬	小俣富美雄	168(11)
大腸刺激性下剤	中澤 敦	172(11)
塩類下剤	小林 清典	176(11)
腸管洗浄剤	上野 文昭	180(11)
腸管運動抑制・分泌抑制薬		
……丸田 紘史・三浦総一郎	182(11)	
過敏性腸症候群治療薬	永田 博司	186(11)
炎症性腸疾患治療薬: 5ASA 製剤		
……本谷 聡・山下 真幸・田中 浩紀	191(11)	
炎症性腸疾患治療薬: 生物学的製剤		
……鎌田 紀子・渡辺 憲治	194(11)	
蛋白分解酵素阻害薬	伊佐地秀司	197(11)

グリチルリチン製剤	松崎 靖司	201(11)
インターフェロン製剤		
……重福 隆太・奥瀬 千晃・四柳 宏	204(11)	
C 型肝炎ウイルス治療薬	田中 克明	208(11)
B 型肝炎ウイルス治療薬		
……鈴木雄一朗・黒崎 雅之・泉 並木	211(11)	
胆汁酸製剤	柴田 実	214(11)
制吐薬: 5-HT ₃ 受容体拮抗薬, 選択的 NK ₁ 受容体拮 抗薬		
……船越 信介・高石 官均・日比 紀文	217(11)	
経口抗癌剤		
……長谷部行健・種村 宏之・中崎 晴弘	221(11)	

■ 神経・筋疾患薬

抗てんかん薬	岩佐 博人・兼子 直	226(11)
レボドパ	西川 典子・野元 正弘	231(11)
ドパミン受容体アゴニスト		
……梶本 賀義・三輪 英人	234(11)	
抗コリン薬	菊地 誠志	237(11)
その他の Parkinson 病治療薬, 選択的末梢 COMT 阻 害薬, ゴニサミド	斎木 英資	240(11)
Alzheimer 型認知症治療薬	東海林幹夫	244(11)
末梢性筋弛緩薬	目崎 高広	247(11)
中枢性筋弛緩薬	長谷川一子	250(11)
浸透圧利尿薬	七戸 秀夫・寶金 清博	254(11)
片頭痛発作時治療薬		
……高嶋良太郎・渡邊 由佳・平田 幸一	257(11)	
抗めまい薬	山本 昌彦・吉田 友英	260(11)

■ 血液疾患薬

鉄剤	岡田 定	266(11)
G-CSF 製剤	渡辺 卓郎・神田 善伸	268(11)
エリスロポエチン産生刺激製剤		
……長谷 川毅・藤岡 礼・笹井 文彦	274(11)	
ヒト免疫グロブリン製剤	辰巳 陽一	278(11)
慢性骨髄性白血病薬		
……福島 伯泰・木村 晋也	282(11)	

■ 代謝・栄養障害薬

HMG-CoA 還元酵素阻害薬(スタチン)		
……塚本 和久	286(11)	
フィブラート系薬剤		
……南雲 彩子・白井 厚治	289(11)	
陰イオン交換樹脂	山川 正	291(11)
ニコチン酸製剤	平野 勉	294(11)
イコサペント酸エチル	及川 眞一	296(11)
小腸コレステロールトランスポーター阻害薬		
……山下 静也	302(11)	
インスリン製剤	大村 千恵・綿田 裕孝	306(11)
スルホニル尿素薬		

……………橋本 尚子・清野 進	312(11)
速効型インスリン分泌促進薬	
……………太田 明雄・田中 逸	316(11)
α -グルコシダーゼ阻害薬……………森 豊	320(11)
ビグアナイド薬……………黒瀬 健	324(11)
インスリン抵抗性改善薬, インスリン抵抗性改善薬・DPP-4 阻害薬合剤	
……………木村 友彦・加来 浩平	326(11)
インクレチン関連薬	
……………濱崎 暁洋・稲垣 暢也	330(11)
痛風・高尿酸血症治療薬	
……………山本 徹也・小山 英則	334(11)
カルシトニン製剤	
……………山田 真介・稲葉 雅章	338(11)
活性型ビタミン D ₃ 製剤	
……………矢野 彰三・杉本 利嗣	341(11)
副甲状腺ホルモン……………竹内 靖博	345(11)
ビスホスホネート製剤	
……………近藤 剛史・遠藤 逸朗・松本 俊夫	348(11)
選択的エストロゲン受容体モジュレーター	
……………高柳 涼一	351(11)
ビタミン K 製剤……………井上 聡	354(11)

■ 内分泌疾患薬

成長ホルモン製剤……………高野 幸路	358(11)
成長ホルモン分泌抑制薬, 成長ホルモン受容体拮抗薬	
……………肥塚 直美	361(11)
麦角アルカロイド誘導体	
……………桑原(島津)智子・島津 章	364(11)
下垂体後葉ホルモン製剤	
……………村瀬 孝司・大磯ユタカ	366(11)
抗甲状腺薬……………宇佐 俊郎・植木 郁子	369(11)
甲状腺ホルモン製剤	
……………宇佐 俊郎・植木 郁子	372(11)
男性ホルモン製剤……………高 栄哲	374(11)
エストロゲン製剤……………太田 博明	377(11)

■ リウマチ・膠原病治療薬

糖質ステロイド薬……………六反田 諒・岸本 暢将	382(11)
低分子疾患修飾性抗リウマチ薬(DMARDs)	
……………土師陽一郎・岡田 正人	386(11)
生物学的製剤……………中西 研輔・金城 光代	392(11)
非ステロイド性抗炎症薬	
……………野村 篤史・藤田 芳郎	396(11)
免疫抑制薬……………横川 直人	399(11)

■ 感染症薬

ペニシリン系, β ラクタマーゼ阻害薬合剤	
……………高山 義浩	404(11)
セフェム系第1~4世代, モノバクタム系	
……………井口 光孝	407(11)
カルバペネム系……………上糺 義典・細川 直登	410(11)
アミノ配糖体系……………大野 博司	414(11)
テトラサイクリン系……………上原 由紀	418(11)
マクロライド系……………岩渕千太郎	421(11)
リンコマイシン系	
……………今泉 貴広・藤田 芳郎	425(11)
多剤耐性菌治療薬……………柳 秀高	428(11)
主として耐性グラム陽性菌に対する抗菌薬	
……………根本 隆章・松田 隆秀・松永 直久	432(11)
ニューキノロン系……………矢野 晴美	438(11)
抗真菌薬(ポリエン系, キャンディン系, トリアゾール系)……………脇坂 達郎	442(11)
皮膚真菌症治療薬	
……………石崎 純子・田中 勝	446(11)
インフルエンザ治療薬……………齋藤 昭彦	450(11)
ヘルペスウイルス治療薬	
……………有馬 丈洋・本郷 偉元	454(11)
カリニ肺炎治療薬……………谷口 俊文	460(11)
抗 HIV 薬……………横幕 能行	464(11)
抗マラリア薬……………味澤 篤	468(11)
ワクチン・トキシイド……………菅沼 明彦	470(11)

■ 精神神経疾患治療薬

セロトニン・ノルアドレナリン再取り込み阻害薬(SNRI), ノルアドレナリン作動性・特異的セロトニン作動性抗うつ薬(NaSSA)	
……………本田 明	476(11)
選択的セロトニン再取り込み阻害薬(SSRI)	
……………本田 明	478(11)
三環系・四環系抗うつ薬……………本田 明	481(11)
新世代(非定型)抗精神病薬	
(セロトニン・ドパミン拮抗薬, クロザピン類似体, ドパミン部分アゴニスト)……………本田 明	484(11)
抗不安・催眠薬……………本田 明	487(11)

■ 鎮痛薬

非ピリン系解熱鎮痛薬	
……………金城 永治・森本 剛	490(11)
非麻薬性鎮痛薬……………阿部 展子・岩崎 寛	493(11)
麻薬性鎮痛薬	
……………山川真由美・加藤 佳子・加藤 滉	497(11)